

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	急性非還納性鼠径部・閉鎖孔ヘルニアに対する、メッシュを用いた一期的修復術の安全性検討
研究責任者 (共同研究者)	兼田杏理 (笹田大敬 山下美南 松本拓真 境剛志 佐藤衆一)
研究目的と意義	急性非還納性ヘルニアにおいて腸管切除を要した場合、感染の懸念から、メッシュの使用の是非は議論が分かれています。当院では腸管切除を伴う場合でもメッシュによる一期的ヘルニア修復を行っており、その安全性を検討します。
調査対象となる方 (該当期間)	2011 年 10 月から 2025 年 8 月までのあいだに、鼠径部および閉鎖孔ヘルニア嵌頓の診断で、当科で緊急手術を受け、かつメッシュによる修復をうけたかた。
研究方法 (使用する情報)	上記の対象を、腸管切除した群と、腸管切除していない群にわけ、手術合併症、ヘルニア再発、術後在院日数などの手術成績を比較検討します。
研究期間	倫理委員会承認日(2026 年 1 月 9 日)より 1 ヶ月
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報(イニシャル、生年月日、当院 ID など)は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者さんにしていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 外科 研究責任者：兼田 杏理 電話番号：0172-55-7717
備考	